

授 業 概 要

(幼稚園教諭専攻科)

授業のタイトル (科目名) 専門演習 I	授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)	授業担当者	当該科目に関する実務 経験
		板垣 寛	臨床心理士 児童相談所相談員 児童発達支援センター相 談員
		柳田 真理子	保育士
授業の回数 8回	時間数 (単位数) 16時間 (1単位)	幼稚園教諭専攻科 後期	必修・選択 必修
<p>[授業の目的・ねらい及び概要]</p> <p>・保育、子育て支援について具体的な事例、課題を取り上げながら授業にて、調査・分析・問題点整理の方法を学ぶ。また、それらを有機的に関連付けることによって実習や就職に備える。保育・教育現場で「保育」「教育」「子育て支援」「多文化理解」の3つの視点を持てるよう、討論を交えつつ積極的に学ぶ。</p>			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1・現代社会とこどもの育ち・幼児期の発達と遊び 2・子どもの心をしるることについて・子どもの心を理解するための臨床心理学的な視点と方法について 3・子どもの心を知る方法としての観察、また、実践改善における記録の重要性について <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心を理解するための基本的な考え「カウンセリングマインド」について ・保育におけるカウンセリングマインドの重要性について 4・1～7回目までの、学習のまとめ 5・保育者による、保育・教育の組み立てについて・保育者による子どもへの対応について 6・保育者による保護者への対応及び保護者からの質問について <ul style="list-style-type: none"> ・教育実習中の子どもへの指導や援助について 7・実習生、初任者が抱える子どもへの対応の分からなさ、課題、対策について <ul style="list-style-type: none"> ・実習生、初任者における園や保育者との関わりについて 8・5～6回目までのまとめ 			
<p>[使用テキスト]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保育臨床相談」(北大路書房) <p>「参考プリント」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて配布 			
<p>[成績評価の方法と基準]</p> <p>教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し学内共通の基準による絶対評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考查点(75%) ・到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。 ・平常点(25%) ・授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。 			